

事業名：交通対策管理経費

企画課 企画係

政 策	1 自然・環境			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 人と自然の共生			具体的施策					
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

野幌森林公園内基線道路の一般車両通行者（江別市民）

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	江別市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

野幌森林公園内基線道路の入り口等に一般車両の通行抑制を促す看板を設置し、その効果を検証するために交通量を測定する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	通行抑制看板設置数	枚	4	4	4	4
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

自然環境の保全を図るため、一般車両の通行を抑制する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	交通量（自動車）	台	11	10	10	8
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	33	33	59	56
正職員人件費 (B)		千円	1,141	1,115	1,120	1,186
総事業費 (A+B)		千円	1,174	1,148	1,179	1,242

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	交通量調査実施	調査委託費用 56千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：都市景観創出事業

都市計画課 計画係

政 策	5 都市生活			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	昭和62年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・市ホームページや景観パンフレットの発行により、景観に関する啓発・情報発信を行う。
- ・3年毎に都市景観賞を開催し、市民や企業などによる優れた景観創出・活動に対する表彰を行う。
- ・市内の景観資源の周知を目的として、3年毎に都市景観フォトコンテストを開催する。
- ・都市景観施設（バス待合所など）の修繕等に対する補助を行う。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	景観イベントの開催日数	日	175	0	236	204
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

景観に対する市民意識の醸成を図り、都市景観の向上と快適な都市環境を創出する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	都市景観賞受賞件数	件	63	63	63	66
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	421	5,796	1,130	694
正職員人件費 (B)		千円	1,521	1,487	5,971	1,581
総事業費 (A+B)		千円	1,942	7,283	7,101	2,275

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	都市景観賞の開催	都市景観賞開催経費 694千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：定住促進事業

政策推進課参事（シティプロモート・住環境活性化）

政 策	5 都市生活			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	奨励的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民及び移住検討者

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	日本総人口	千人	124, 947	124, 352	124, 340	123, 790
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・移住・定住に関する相談の対応を行う。
 ・地域イベントへの参加・交流を行う。
 ・移住を促すため、首都圏及び札幌圏でPR活動を行う。また、北海道を中心とした道内市町村との広域連携事業である移住支援事業（移住支援金）を実施する。
 ・地域の魅力について情報収集し、ホームページやSNS、パンフレット等を活用して子育て世代を中心に効果的な発信を行い、江別市への移住意欲を喚起する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	移住定住に関するPR活動の種類数	個	8	8	8	8
活動指標 2	移住定住に関する相談対応件数	件	81	103	130	143

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

子育て世代を中心とした移住促進、市内での居住維持による定住促進が図られる

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	移住支援金交付決定件数	件	0	4	5	5
成果指標 2	移住ポータルサイトの閲覧数（年間）	回	35, 282	49, 362	66, 848	73, 533

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	3, 819	12, 995	17, 729	17, 736
正職員人件費 (B)		千円	7, 604	7, 433	7, 464	3, 952
総事業費 (A+B)		千円	11, 423	20, 428	25, 193	21, 688

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	移住ポータルサイトの改修及び広告配信 首都圏移住フェアでのPR 移住促進パンフレットの印刷 地域おこし協力隊による活動 移住支援金の交付	移住ポータルサイトの改修及び広告配信に係る経費	370千円
		首都圏移住フェアでのPRに係る経費	338千円
		移住促進パンフレットの印刷に係る経費	400千円
		地域おこし協力隊の活動に係る経費	3, 907千円
		移住支援金	12, 400千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：生活バス路線等運行補助事業

政策推進課参事（公共交通）

政 策	5 都市生活			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 暮らしを支える交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

生活バス路線等事業者

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	バス路線数（系統数）	系統	29	27	27	27
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・「江別市生活バス路線運行費補助金交付要綱」に基づき、国や道の補助対象とならない市内完結バス路線を対象として、運行費の収支差に対する補助金を予算の範囲内で交付する。

＜見込額＞

- ・江別 2 番通線：25,000千円
- ・野幌見晴台線：15,000千円

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	39,768	41,131	41,000	40,000
活動指標 2	補助対象バス路線数	路線	4	4	2	2

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・生活バス路線等の運行が維持される。
- ・交通弱者の移動の利便性が確保される。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	バス路線の廃止数（系統数）	系統	0	2	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	39,768	41,131	41,000	40,000
正職員人件費 (B)		千円	2,281	2,230	2,239	2,371
総事業費 (A+B)		千円	42,049	43,361	43,239	42,371

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	バス路線運行費に対し補助金を支出	バス路線運行費への補助金 40,000千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：豊幌駅舎共同管理経費（補助金）

政策推進課参事（公共交通）

政 策	5 都市生活			戦 略					
取 組 の 基本方針	（２）暮らしを支える交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	昭和59年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

豊幌地区の住民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	豊幌地区の人口	人	2,624	2,643	2,643	2,594
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「豊幌駅業務運営費補助要綱」に基づき、豊幌駅の管理運営を行う自治会に対し、当該管理運営経費の一部を予算の範囲内で補助する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	550	550	600	600
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

豊幌駅に管理人が配置されることにより、駅利用者の利便性・安全性が確保される。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	豊幌駅の利用に関する苦情件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	550	550	600	600
正職員人件費 (B)		千円	760	743	746	790
総事業費 (A+B)		千円	1,310	1,293	1,346	1,390

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	駅業務運営に対し補助金を支出	駅業務運営への補助金 600千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：公共交通利用促進対策事業

政策推進課参事（公共交通）

政 策	5 都市生活			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 暮らしを支える交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・地域公共交通計画に基づき、路線バスの利用促進、江北地区及び豊幌地区デマンド型交通運行事業の支援等を行う。
- ・江別市地域公共交通活性化協議会（市、公共交通事業者、公共交通利用者、学識経験者等で構成）において、地域公共交通計画の推進状況の確認等を行うほか、市内のバス路線についても引き続き検討等を行う。
- ・市民に対して、市ホームページ・広報誌等による情報発信を行う。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	利便性向上や利用促進等のために行った事業数	件	4	4	4	4
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

交通機能を維持・確保することに加え、情報提供の強化等を図ることにより利用が促進される。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	バス輸送人員	千人	420	466	520	520
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	11,831	4,953	6,740	8,167
正職員人件費 (B)		千円	9,885	11,150	11,196	11,856
総事業費 (A+B)		千円	21,716	16,103	17,936	20,023

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	・計画推進等業務 ・地域公共交通活性化協議会等開催 ・バス路線マップ等作成 ・市ホームページや広報誌による周知・利用啓発	・江北地区デマンド型交通補助金 ・豊幌地区デマンド型交通補助金 ・地域公共交通活性化協議会等開催 ・バス路線マップ等作成	2,220千円 4,160千円 739千円 1,048千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：行政デジタル化推進事業

デジタル政策室（行政デジタル化）

政 策	5 都市生活			戦 略					
取 組 の 基本方針	(3) 暮らしを豊かにする技術の活用			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市職員
- ・市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市職員	人	1,147	1,162	1,147	1,162
対象指標 2	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・デジタル技術やデータ、A I等の活用
- ・行政手続きのオンライン化の推進

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	業務システム数	システム	2	3	5	5
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

デジタル技術の活用により、住民の利便性向上や職員の業務効率化を図り、行政サービスの向上に繋げる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	システムを使用する課等の数	課	38	53	64	64
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	4,937	15,098	32,143	281,197
正職員人件費 (B)		千円	7,604	7,433	7,464	7,904
総事業費 (A+B)		千円	12,541	22,531	39,607	289,101

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・業務における生成A Iの活用 ・行政手続きやアンケート等のオンライン化に関する業務（申請管理システム、LoGoフォーム） ・基幹系システム標準化、共通化に関する新総合行政システム移行準備対応	・生成A I利用料：1,980千円 ・申請管理システム利用料：1,065千円 ・LoGoフォーム利用料：1,215千円 ・基幹系システム標準化・共通化に関する新総合行政システム移行準備対応経費：270,190千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：生涯健康プラットフォーム推進事業 デジタル政策室（デジタル政策）

政 策	5 都市生活	戦 略	5 デジタル技術で住みよい明日を切りひらく
取 組 の 基本方針	(3) 暮らしを豊かにする技術の活用	具体的施策	(1) デジタル技術の活用
開始年度	令和 4年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2
	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1 市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

群馬県前橋市が整備するデータ連携基盤を利用し、統合IDを通じて個別最適化されたサービスを提供する。

指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1 ユーザー数（累計）	人	384	4,177	6,775	8,000
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

デジタル機器やAI等の技術を活用して、市民が生涯に渡って自らの健康を管理していくことができる仕組みを構築することで、健康寿命の延伸や地域産業の活性化が図られる。

指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1 地域生活の幸福度割合（健康状態）	%	78.4	81.2	82	83
成果指標 2 eダイアリーを活用した健康生活への満足度	%	0	69.1	72	74

事業費の推移	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)	千円	0	5,002	14,692	10,596
正職員人件費 (B)	千円	0	26,016	26,124	39,520
総事業費 (A+B)	千円	0	31,018	40,816	50,116

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
7年度 ・各サービスに伴うデータ連携基盤の運用 ・スマホ相談窓口の実施	・データ連携基盤運用保守費用 10,000千円 ・スマホ相談窓口の実施 300千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市内大学教育助成事業

企画課 企画係

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	令和 5年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内4大学（酪農学園大学・北翔大学・札幌学院大学・北海道情報大学）

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市内大学	校	0	4	4	4
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内4大学から、その良好な教育環境の整備を図るための事業について、申請を受け補助金を交付する。

【根拠要綱】江別市ふるさとえづつ教育応援補助金交付要綱

【補助率および上限額】補助対象経費の全部または一部に対し、前年1月から12月の間に、各校のために納められたふるさと納税寄附金額の30%程度を上限として交付する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助事業件数	件	0	4	4	4
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内4大学が、ふるさと納税寄附者に広く認知されることにより、寄附による大学支援が拡大する。

市内4大学が補助事業を推進することにより、在学生の修学環境の充実が実現する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	補助申請事業件数	件	0	4	4	4
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	0	1,642	2,164	2,533
正職員人件費 (B)		千円	0	2,230	2,239	2,371
総事業費 (A+B)		千円	0	3,872	4,403	4,904

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	市内4大学へ、申請に基づき補助金を交付	補助金額2,533千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：大学連携調査研究助成事業

企画課 企画係

政 策	8 協働・共生			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内4大学（酪農学園大学、北翔大学（短期大学部を含む）、札幌学院大学、北海道情報大学）の教員及び教員を中心とした団体。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市内4大学所属教員数（短大含む）	人	477	480	480	487
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内4大学に所属する教員が行う江別市の課題解決や地域活性化に貢献する調査研究事業に対し、大学連携調査研究事業補助金を交付する。なお、対象は第7次江別市総合計画の「えべつ未来戦略」に関わる事業等とする。

【根拠要綱】江別市大学連携調査研究事業補助金交付要綱

【補助率及び上限額】補助対象経費の全額又は一部について、1,000千円を上限に補助

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	補助事業件数	件	7	8	7	7
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

補助金の交付により、市内4大学の教員及び教員を中心とした団体が、地域の課題解決につながる具体性・実用性の高い調査研究を実施できるようにする。また、大学の優れた研究等を地域の課題解決に生かすため、教員等の関心を高める。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	補助事業申請件数	件	7	9	13	7
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	1,770	1,535	2,300	2,700
正職員人件費 (B)		千円	3,042	2,230	2,239	2,371
総事業費 (A+B)		千円	4,812	3,765	4,539	5,071

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	- 市内4大学に所属する教員が行う江別市の課題解決や地域活性化に貢献する調査研究事業に対し、大学連携調査研究事業補助金を交付する。 - 前年度の補助事業について、市ホームページに報告書を掲載する。 【令和6年度の採択事業】 - 江別市内における経済波及効果推計ツールの開発 - 野菜摂取促進につながる市民の認識とヘルスリテラシーの分析等	- 江別市大学連携調査研究事業補助金 2,600千円 - えべつ未来づくりプラットフォーム負担金 100千円	

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：大学連携学生地域活動支援事業

企画課 企画係

政 策	8 協働・共生			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内4大学（酪農学園大学、北翔大学（短期大学部を含む）、札幌学院大学、北海道情報大学）に所属する学生団体

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標1	市内4大学に在学する学生数（短期大学部含む）	人	10,688	10,611	10,611	10,145
対象指標2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内4大学に所属する学生団体が行う地域住民とのふれあいや、まちづくりに関する自主的な取組（環境活動、地域福祉、教育及び文化、観光及び産業、その他まちづくりに関する事業）に対し、補助金を交付する。

【根拠要綱】江別市大学連携学生地域活動支援事業補助金交付要綱

【補助率及び上限額】補助対象経費の全額又は一部について、100千円を上限に補助

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標1	補助事業件数	件	2	4	3	4
活動指標2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内4大学に在学する学生が、江別市民の一員としての意識を持つことが地域と大学による協働のまちづくりにつながることから、補助金の交付により、学生が自主的に、地域住民とのふれあいやまちづくりに関する取組を実施できるようにする。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標1	補助事業申請件数	件	2	4	3	4
成果指標2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費(A)		千円	113	239	425	400
正職員人件費(B)		千円	3,802	2,230	2,239	2,371
総事業費(A+B)		千円	3,915	2,469	2,664	2,771

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	市内4大学に所属する学生団体が行う地域活動等に対し補助金を交付する。 【令和6年度採択事業】 ・江別の歴史を学べるインタラクティブ絵本作成展示プロジェクト ・地域の魅力を題材としたアート作品の制作の試み ・江別市内部活動支援組織体の設立	・江別市大学連携地域活動支援事業補助金 400千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：学生地域定着自治体連携事業

企画課 企画係

政 策	8 協働・共生			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内4大学（酪農学園大学、北翔大学（短期大学部を含む）、札幌学院大学、北海道情報大学）に所属する学生

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標1	市内大学に在学する学生数（短期大学部含む）	人	10,688	10,611	10,611	10,145
対象指標2	協議会加入自治体数	団体	8	8	8	8

手段（事務事業の内容、やり方）

連携自治体（江別市、芦別市、赤平市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町）へ市内4大学の学生を就業・定住させることを目的に組織された学生地域定着推進広域連携協議会を運営し、市内で実施する地域活動プログラム（インターンシップ、ワークショップ、地域イベント、学生発案プログラムなど）に学生が参加するための支援を行う。支援の手段は、学生と地域活動プログラムのマッチングほか、交通費の支給など。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標1	地域活動等実施プログラム数	件	71	72	70	70
活動指標2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内4大学の学生が地域の魅力を知り、将来的な市内での就業・定住につなげるために、地域活動プログラムに参加する学生の増加を図る。また、協議会の運営を通じて、当市以外の連携自治体への就業・定住についても実現を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標1	市内の地域活動等に参加した延べ学生数	人	387	416	400	400
成果指標2	参加者のうち市内へ就業した者の人数	人	2	3	3	3

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費(A)		千円	3,962	3,559	4,032	3,872
正職員人件費(B)		千円	9,885	9,663	9,703	11,066
総事業費(A+B)		千円	13,847	13,222	13,735	14,938

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	- 学生地域定着推進広域連携協議会の運営 - 学生地域活動プログラム参加支援	学生地域定着推進広域連携協議会負担金 3,834千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	これまでは各団体や自治体で作成した学生地域活動プログラムに学生の参加を呼びかけていたが、この既存の取組のほか、令和7年度からは学生が主体となり作成したプログラムの導入も進める。

事業名：生涯活躍のまち推進事業

政策推進課 主査（政策推進）

政 策	8 協働・共生			戦 略	2 幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける				
取組の 基本方針	(2) 共生社会の形成			具体的施策	(3) 多様性を認め合う社会意識の醸成				
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・地域課題・ニーズの収集や、イベント等の実施といった役割を担うコーディネーターを配置する。
- ・生涯活躍のまちを広く周知するためのPRを実施する。
- ・拠点地域を中心とした地域交流事業を実施する。
- ・障がい者の就労環境の充実のため、民間企業との連携会議や福祉事業所合同説明会等を開催する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	生涯活躍のまち関連イベント開催回数	回	78	83	72	68
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市民が住み慣れた地域で、生涯にわたり医療・介護サービスの充実や生活利便性が確保され、安心した生活ができる。
- ・中高年齢者、若年層、障がい者など多様な主体の交流による「共生のまち」を実現する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	拠点地域を訪れた人数	人	100,764	109,395	100,000	100,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	8,635	8,100	7,285	6,855
正職員人件費 (B)		千円	11,406	7,433	9,703	7,904
総事業費 (A+B)		千円	20,041	15,533	16,988	14,759

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・コーディネーターの配置及び地域交流事業の実施 ・障がい者就労環境充実に向けた取組 ・生涯活躍のまちPR	・コーディネーターの配置及び地域交流事業実施に係る経費 6,538千円 ・障がい者就労環境充実に向けた取組に係る経費 194千円 ・生涯活躍のまちPRに係る経費 123千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：行政改革推進事業

政策推進課 主査（政策推進）

政 策	9 計画推進			戦 略					
取組の 基本方針	(1) 自主・自立の市政運営の推進			具体的施策					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市職員、市民
※令和7年度から対象指標2を追加

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標1	市職員数	人	1,147	1,162	1,147	1,162
対象指標2	市民	人	0	0	118,776	118,097

手段（事務事業の内容、やり方）

・行政改革大綱に基づく行政改革推進計画に基づく取組を推進する。
・行政改革推進委員会を開催し、行政改革推進に関する助言や意見を求める。
・市が実施した行政評価（内部評価）に対し、評価の客観性や信頼性を確保するために、行政評価外部評価を実施する。
※行政改革大綱改定（令和6年度）に伴い、令和7年度から指標変更

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標1	行政改革推進委員会開催回数	回	3	4	2	4
活動指標2	行政改革取組項目	件	0	0	23	23

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・市職員が高い意識を持って、行政改革に取り組んでいる。
・市民の満足度が高い行政サービスを提供する。
※行政改革大綱改定（令和6年度）に伴い、令和7年度から指標変更

	指標名	単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標1	様々な課題に対応できる組織・配置になっていると思う職員割合	%	0	0	35.6	55
成果指標2	市からの各種行政サービスの内容・量に満足している市民割合	%	0	0	69.6	73

	事業費の推移	単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
	事業費(A)	千円	112	202	331	313
	正職員人件費(B)	千円	3,802	7,433	4,478	4,742
	総事業費(A+B)	千円	3,914	7,635	4,809	5,055

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
7年度	- 行政改革推進委員会の開催 - 行政改革推進本部会議の開催 - 行政改革推進計画に基づく取組の推進 - 行政評価外部評価の実施	- 行政改革推進委員会の開催経費 308千円 - 行政改革推進本部会議の開催経費 5千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：行政評価・外部評価推進事業

政策推進課参事（総合計画・総合戦略）

政 策	9 計画推進			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 自主・自立の市政運営の推進			具体的施策					
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市職員
- ・市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市職員	人	1, 147	1, 162	1, 147	1, 162
対象指標 2	市民	人	119, 333	118, 776	118, 776	118, 097

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・事務事業評価表の作成など、事務事業を基礎とする行政評価を行う。
- ・行政評価にかかる指標把握等のため、市民アンケート調査等を実施する。
- ・行政評価を行う職員の技能向上を目的として、庁内説明会等を開催する。
- ・学識者・有識者・市民公募委員などで構成される行政改革推進委員会を開催し、市が自ら行った行政評価（内部評価）に対して、外部評価を行うとともに、その結果を公表する。
- ・第7次総合計画や「江別市の現状」等を活用して、総合計画やまちの特徴の周知を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	行政評価説明会等開催回数	回	1	1	1	1
活動指標 2	行政改革推進委員会開催回数	回	3	0	2	4

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・行政評価の手法を用いて、PDCAサイクルによる総合計画の推進が図られる。
- ・総合計画等の認知度の向上が図られる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合	%	71. 2	83. 9	100	100
成果指標 2	計画的に成果が上がっている事務事業の割合	%	83. 2	84. 8	100	100

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	1, 852	1, 978	2, 260	2, 557
正職員人件費 (B)		千円	2, 281	2, 230	2, 239	7, 904
総事業費 (A+B)		千円	4, 133	4, 208	4, 499	10, 461

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・総合計画等の進捗を管理するためのまちづくり市民アンケート・転入アンケート調査の実施 ・行政評価（内部評価）に対する外部評価の実施 ・第7次江別市総合計画の効果的な推進	・各種アンケートの実施に係る経費 2, 335千円 ・行政評価システムの改修に係る経費 87千円 ・「江別市の現状」資料の更新や出前講座等の市民周知等に係る経費 135千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	第7次総合計画に係る成果指標取得の開始に当たって、まちづくり市民アンケート及び転入アンケート調査手法を見直す。 また、これらにより取得した指標等を元に、第7次総合計画の進捗管理を行うとともに、外部評価を実施する。

事業名：企業版ふるさと納税推進事業

政策推進課参事（総合計画・総合戦略）

政 策	9 計画推進			戦 略					
取 組 の 基本方針	(1) 自主・自立の市政運営の推進			具体的施策					
開始年度	令和 6年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単 独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・江別市外に本社を有する企業

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	本事業で働きかけを行う企業（概数）	社	0	0	500	800
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・全庁的に企業版ふるさと納税の推進に向けた取組を行う。
- ・市内大学の卒業生が代表を務める企業等に対する働きかけを行う。
- ・民間のマッチング支援を活用した取組を行う。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	全庁的に行う企業への制度案内件数	件	0	0	3	10
活動指標 2	市内大学の卒業生が代表を務める企業への制度案内件数	件	0	0	205	200

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・企業版ふるさと納税制度を通じて、企業とともに地域課題の解決に取り組む。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	企業版ふるさと納税による寄附件数	件	0	0	13	15
成果指標 2	企業版ふるさと納税による寄附金額	万円	0	0	1,239	1,500

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	1,514	2,520
正職員人件費 (B)		千円	0	0	7,464	7,904
総事業費 (A+B)		千円	0	0	8,978	10,424

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	・民間の成果報酬型マッチング支援の活用 ・企業版ふるさと納税制度に係る職員研修の開催と取組の推進 ・市内4大学の卒業生が代表を務める企業に対する市のPRと制度案内	・マッチング支援委託 2,200千円 ・職員研修に要する経費 229千円 ・制度案内等に要する経費 91千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：広聴活動事業

広報広聴課 広報広聴係

政 策	9 計画推進			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・現状の広聴手段である①面談、②広聴箱、③郵便、④電話、⑤FAX、⑥Eメールのほか、各担当課で実施する⑦施設見学会、⑧市民アンケート、⑨各種懇談会、⑩パブリックコメントの利用増、機会の拡充を図る。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	市民が市へ意見や要望を伝える手段の数	個	10	10	10	10
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・市政に対する市民の意見、要望、提言等を伝える媒体を整備することで、市民が市政に関する意見を伝えやすくなる。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	1年間に寄せられた意見や要望の件数（陳情・要望・市民の声）	件	550	497	422	707
成果指標 2	1年間に寄せられた意見や要望の件数（パブリックコメント）	件	44	307	76	143

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)		千円	5,323	5,203	5,225	5,533
総事業費 (A+B)		千円	5,323	5,203	5,225	5,533

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	市民からの意見・要望を所管課に伝え、市政に反映させる。	人件費事業

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：広報えべつ発行等事業

広報広聴課 広報広聴係

政 策	9 計画推進			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・世帯

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	119,333	118,776	118,776	118,097
対象指標 2	世帯数	世帯	59,427	59,566	59,566	59,806

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・A4判1色刷（表・裏表紙はカラー印刷）、月平均27ページ、毎月1日付、年12回発行。
- ・編集の一部及び印刷、製本については業務委託し、発行に係る企画、取材、編集、版下作成を直接職員が行う。
- ・配布については、自治会に郵送し各戸配布を依頼している他、ホームページへの掲載、自治会未加入者等のために市内の大学、公共施設、JR駅、郵便局、大学・企業の寮、コンビニ、スーパー、病・医院、理容院等にも設置。
- ・転入者に江別での生活情報をまとめた「江別生活ガイドブック」を配布する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	月平均作成部数	部	47,176	47,176	47,100	47,100
活動指標 2	広報配布箇所数	箇所	260	262	262	260

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市政の基本方針を始め、業務・事業紹介、制度改革、市民活動団体の紹介等、市民生活に係る事項について市民に周知される。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	配布率	%	78	77.6	76.4	78
成果指標 2	広報えべつを読んでいる市民の割合	%	78.8	81.1	78.8	79.9

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	13,915	15,736	16,301	16,846
正職員人件費 (B)		千円	11,406	11,893	11,942	12,646
総事業費 (A+B)		千円	25,321	27,629	28,243	29,492

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	広報えべつの発行、転入者への生活情報をまとめた冊子「江別生活ガイドブック」の発行	広報えべつ作成経費 16,508千円 江別生活ガイドブック作成経費 338千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：ホームページ運営事業

広報広聴課 広報広聴係

政 策	9 計画推進			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・江別市の情報を必要としている方

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	0	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・市公式ホームページで市政情報やイベント情報などを提供する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	情報更新回数（年間）	件	5,695	5,455	5,072	5,923
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市政情報などを迅速かつ分かりやすく提供することで、市と市民が行政情報を共有する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	ホームページアクセス数（年間）	回	6,489,966	5,740,623	4,745,348	7,352,955
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	1,812	2,054	1,879	2,011
正職員人件費 (B)		千円	7,604	7,805	7,837	8,299
総事業費 (A+B)		千円	9,416	9,859	9,716	10,310

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	市ホームページの管理・運営	コンテンツ管理システムの保守管理経費 1,946千円 ポケットWi-Fiルータ 65千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：えべつシティプロモーション事業

政策推進課参事（シティプロモート・住環境活性化）

政 策	9 計画推進			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市外居住者

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市外居住者	千人	124, 828	124, 221	124, 221	123, 672
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・市内大学・企業・経済団体などとともに市のプロモーション（売り込みや知名度向上）のための推進組織（江別シティプロモート推進協議会）を設置し、官民一体でのプロモーションを検討し、江別の魅力を発信するなど、まちのイメージを高めるための戦略的な取組を実施する。
 ・主に札幌圏や首都圏の子育て世代に向け、SNSやWEB広告等を活用し、食や農、住環境等のPRについて効果的な情報発信を実施する。
 ・魅力発信コンテンツの制作やまちづくりアドバイザーの登用のほか、ラジオ広報番組の制作によりPRを強化する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	シティプロモーションに関する活動の種類数	個	13	12	13	16
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

様々なプロモーションにより、積極的に江別市の魅力をPRし、江別市に対する認知度、イメージを向上させる。認知度やイメージの向上は、企業誘致、観光や転入促進など市外の対象に働きかける様々な活動を効果的・効率的に推進するために必要な要素である。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	江別市の認知度の道内順位	位	21	20	21	21
成果指標 2						

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	5, 215	5, 317	6, 359	29, 564
正職員人件費 (B)		千円	7, 604	7, 433	7, 464	3, 952
総事業費 (A+B)		千円	12, 819	12, 750	13, 823	33, 516

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
7年度	Instagramフォトキャンペーンの開催 住環境のPR活動 市PRグッズの制作 まちづくりアドバイザーの登用 魅力発信コンテンツの制作 ラジオ広報番組の制作 地域おこし協力隊による活動	Instagramフォトキャンペーンに係る経費	728千円
		住環境のPRに係る経費	510千円
		市PRグッズの制作の経費	400千円
		まちづくりアドバイザーの活動に係る経費	5, 990千円
		魅力発信コンテンツの制作に係る経費	14, 000千円
		ラジオ広報番組の制作に係る経費	3, 795千円
		地域おこし協力隊の活動に係る経費	3, 674千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：情報発信強化事業

広報広聴課 広報広聴係

政 策	9 計画推進			戦 略					
取 組 の 基本方針	(2) 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市の情報を必要としている方

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
対象指標 1	市民	人	0	118,776	118,776	118,097
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

新しい時代に向けた情報発信の強化

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
活動指標 1	SNS及び地デジ広報サービスでの情報発信回数	回	6,202	15,115	15,291	15,363
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

多様化する利用者ニーズに対応した情報発信を行うことで、市と市民が行政情報を共有する。

指標名		単位	4年度実績	5年度実績	6年度 実績見込み	7年度予算
成果指標 1	SNSのフォロワー等数	人	26,684	35,999	46,057	50,584
成果指標 2	SNSでの配信に対する行動数	回	0	1,139,738	845,014	1,983,685

事業費の推移		単位	4年度実績	5年度実績	6年度予算	7年度予算
事業費 (A)		千円	2,106	1,637	1,628	1,702
正職員人件費 (B)		千円	1,521	1,115	1,120	1,186
総事業費 (A+B)		千円	3,627	2,752	2,748	2,888

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
7年度	SNS（LINE）などの各公式アカウントおよび地デジ広報サービスの運営	LINE公式アカウント 運用費用 990千円 友だち登録促進費用 99千円 地デジ広報サービス 使用料 451千円

7年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	